

流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事項	流山市事業継続計画(BCP)素案
------	------------------

① 市民参加の方法

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>「防災」については、市民参加は不可欠である。市民参加の手法は意見交換会とパブリックコメント以外にも必要あると思われるが、当面のあり方としては適切だったと判断する。</p> <p>また、意見交換会に20名集まったのは評価できる。</p> <p>一方、パブリックコメントが1件のみでやや物足りないと感じられるが、その分意見交換会で活発な議論がなされていたと思う。議論の方法も従来の行政・市民の対決型ではなく、ファシリテーターを活用した対話型で行っており、他の事案でも積極的に活用されたい。</p>		

② 市民参加の実施時期及び実施期間

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>条例に照らして、実施時期等を適切に実施されていると考える。また、問題意識を持って、直接に参加者を募り、会議の進行にも工夫を凝らしており、その取り組みの姿勢は他の参考になるものとする。</p> <p>また、早い時期から取り組み工夫を行っており評価できる。</p> <p>パブリックコメントの実施期間中に意見交換会を開いたことで、意見交換会で意識を高めた人がパブリックコメントへ発展する可能性を見込めるため、実施時期の設定はよかったと思う。</p> <p>【各委員からの意見】</p> <p>(1)意見交換会の回数が1回が適切か疑問が残る。</p> <p>(2)パブリックコメントの募集期間が年末年始を挟んだ約1ヶ月であったため、意見は提出しやすい時期かと思われるが、募集期間は2ヶ月ぐらいあってもよいのではないかと。</p> <p>(3)防災計画を修正立案し、次年度への足掛かりを成文化して政策を維持続行する趣旨に適った時、市民への防災計画の周知後が市民参加の適当な時期と考える。</p>		

③ 参加しやすい工夫

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>さまざまな工夫がなされたようであるが、特にファシリテーターを活用し、市民の意見を引き出す意欲は評価する。他の事案でも積極的に活用すべきと考える。</p> <p>また、意見交換会の広報活動として、広報紙以外にツイッターやフェイスブックの活用等は評価する。</p> <p>事前調査として、市民団体の代表者などに直接メールや電話で案内したことは、評価する。</p> <p>【各委員からの意見】</p> <p>(1)小さな子どもを抱えた家庭等も被災する場合も想定して、意見交換会においても託児をつけるべきである。</p> <p>(2)自治会、町会、PTAなどへの周知とそれら組織の関係者の参加が必要ではなかったか。</p>		

④ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>情報提供については、広報への掲載のみならず複数の手段をとっており、評価できる。また、更なる情報発信しなければという姿勢を評価する。</p> <p>市民との協働や情報を共有し、今後の工夫をしている。</p> <p>【各委員からの意見】</p> <p>(1)チラシの配布等工夫はあったが、事業継続計画やBCPという名称は、市民にとって分かりにくいいため、名称の工夫(防災時の行政対応計画等副題を付ける等)が必要であろう。</p>		

⑤ 意見の取扱い

適切である	概ね適切である	不適切である
<p>パブリックコメントに寄せられた意見は、本案件にはかかわりはないものの、今後の流山市の防災行政の参考にしようとする姿勢は評価できる。</p> <p>【各委員からの意見】 (1)意見交換会での意見については、きちんとフィードバックする必要がある。 (2)意見を採用し、修正した結果を持ったことは、市民参加をさらに推進させることにつながり、今後の成果が見込まれる。</p>		

⑥ その他

<p>本対象事業の市民参加条例に関する評価及び改善についての各委員からの個別意見・提案等は次のとおり。</p> <p>(1)防災については、市民参加が不可欠なので、今後も工夫をしながら積極的に市民の意見を聞き、市民参加を促されたい。</p> <p>(2)意見交換会においてファシリテーターを採用し、市民間での意見交換をできたことは大変意義がある。意見交換会の参加人数は妥当と考えるが、開催回数を増やしてもよかったのではないかな。</p> <p>(3)担当課では、この市民参加手法だけで十分とは考えてはおらず、反省点も認識しており、これからの市民参加を推進するという意味では、とても意識が高いことを感じた。</p> <p>(4)新しい“市民参加”への積極的な取り組みを今後も継続してほしい。</p> <p>(5)若い世代の市民が数多く参加する方法を検討する必要がある。</p> <p>(6)本案件に限ったことではないが、案件名や表題を見ただけでは、内容がわからず、事案に関心がある市民や、専門知識や意見を持った市民が意見する機会を失っているように感じる。例えば、正式名称に、わかり易い副題をつけたり、一般的感覚で、噛み砕いた表現を用い、正規に保存する文書と市民向けのパブリックコメント募集の文書に使用する言葉を分けるなどの工夫があってもいいのではないかな。</p>

(注釈)評価シートの「適切である」、「概ね適切である」、「不適切である」の該当について

評価シートの記入基準を満たしていない→「不適切である」

評価シートの記入基準を満たしている→「概ね適切である」

評価シートの記入基準(※)等の案件に応じた工夫をしている→「適切である」